

「活躍する女性リーダーをはぐくむ四国・徳島大学に！」 ～徳島大学女性リーダー育成プロジェクト～ キックオフ・シンポジウム アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、『キックオフ・シンポジウム』利用者の属性、参加者の満足度、ニーズを把握し、今後の事業計画の参考とすることを目的とします。
- 2)調査対象 キックオフ・シンポジウム参加者全員
- 3)調査方法 キックオフ・シンポジウム終了後、Web アンケートへの回答をメールにて依頼
- 4)調査期間 2025 年 6 月 27 日(金)～2025 年 7 月 15 日(火)

■ アンケート集計結果

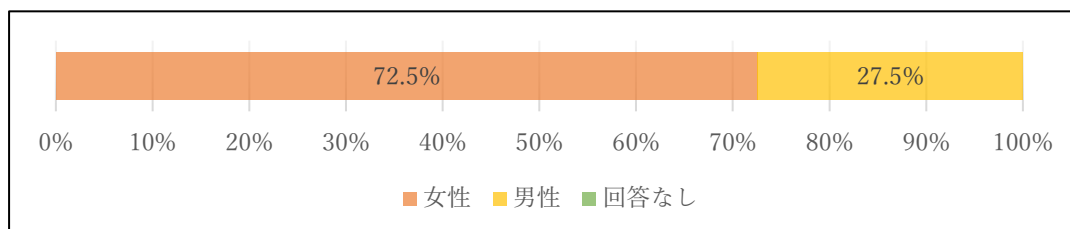
回答数 対象者 107 名、回答者 51 名

回答率 47.7%

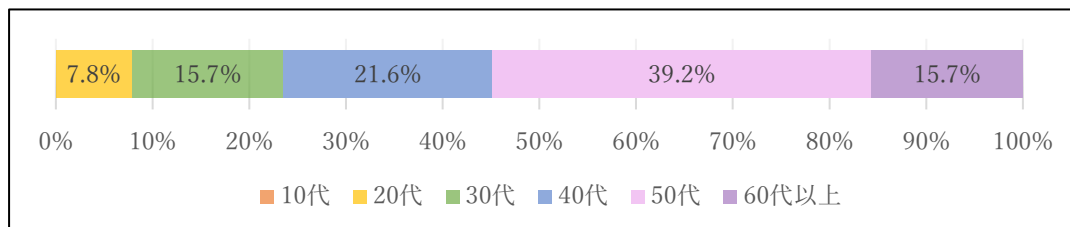
■ アンケート調査結果

問 1.回答者の属性

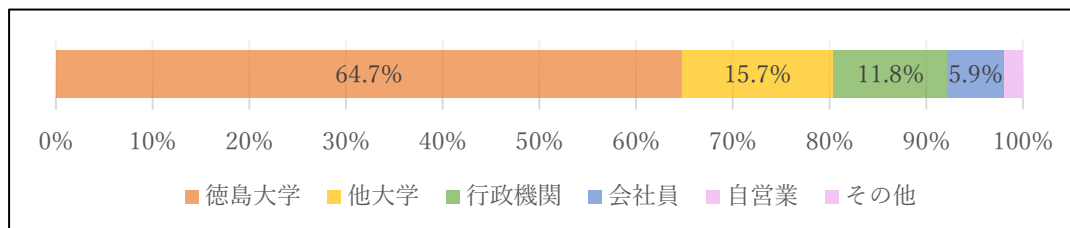
◆性別



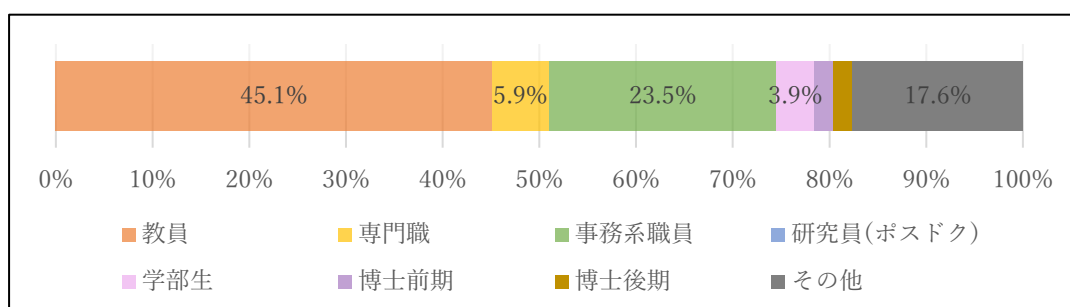
◆年齢



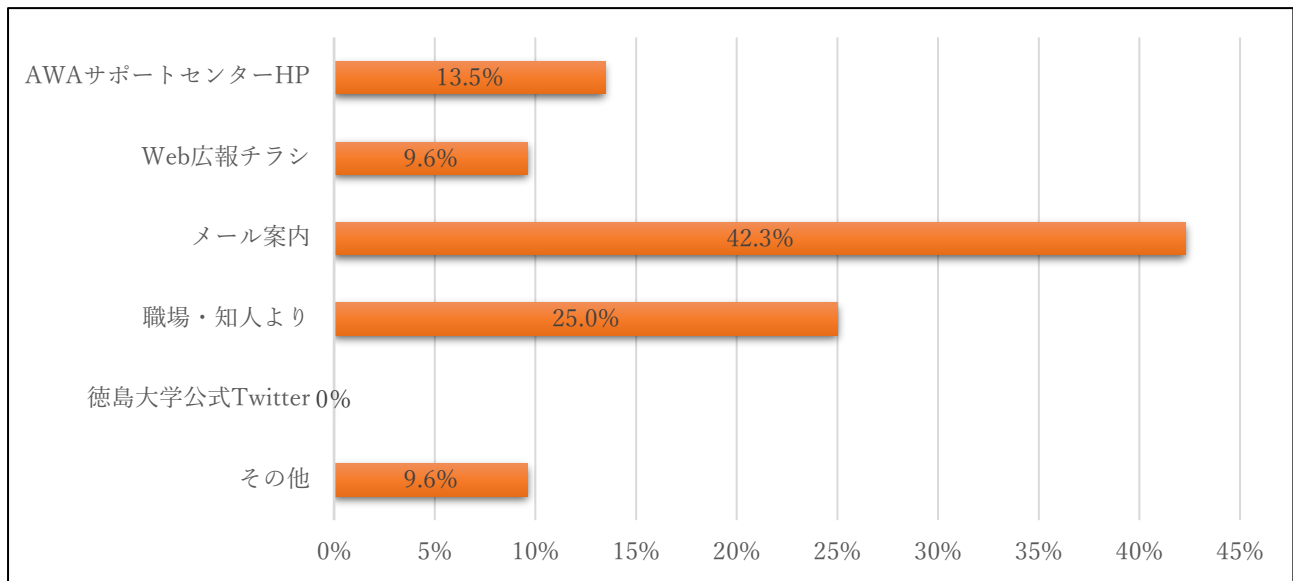
◆所属



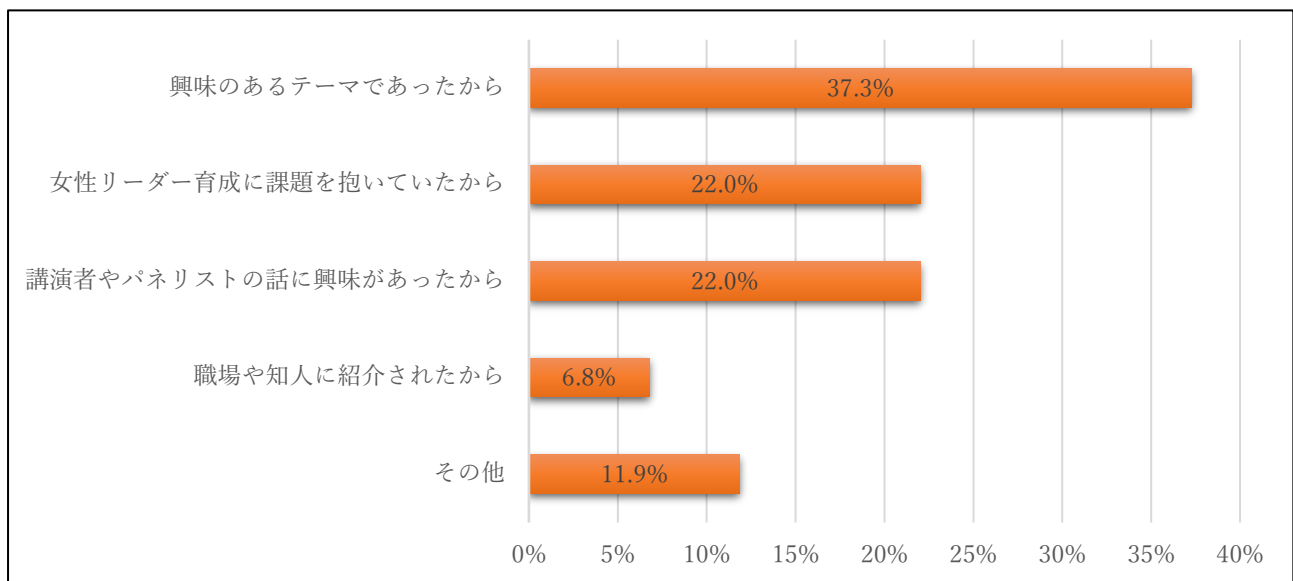
◆職種



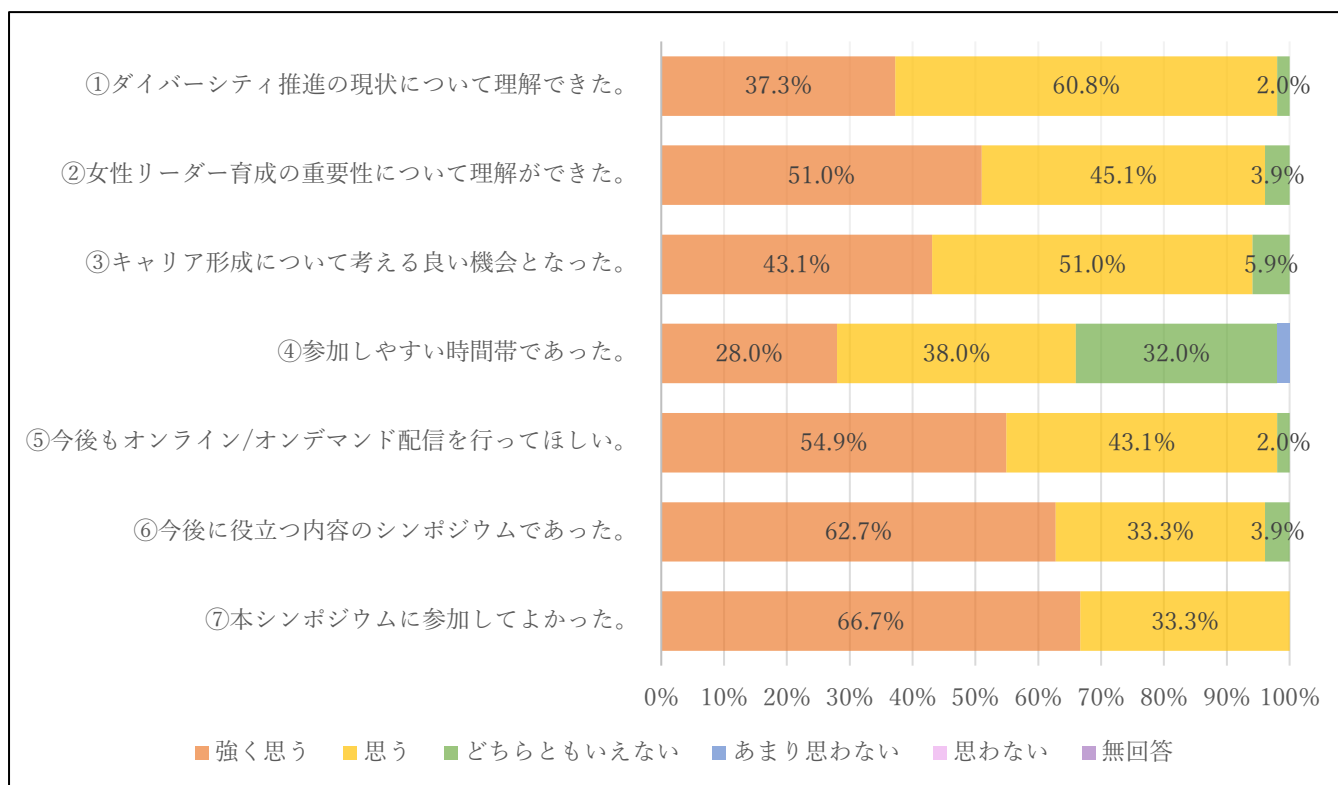
問 2.本シンポジウムを知ったきっかけをお聞かせください。（複数選択可）



問 3.シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。（複数選択可）



問4.以下の質問事項について、該当する項目を選択してください。



シンポジウム参加者（回答者）の属性としては、男性がおよそ 3 割、女性がおよそ 7 割であり、年代では多い順に、50 代、次いで 40 代、30 代および 60 代以上が同数を占めた。所属としては、徳島大学が半数以上を占め、他大学が 15.7%、行政機関が 11.8%、会社員 5.9%であった。職種は教員が最も多く 45.1%、事務系職員が 23.5%、その他 17.6%、専門職が 5.9%、学部生 3.9 パーセント、博士前期・後期合わせて 4%であった。

開催をどのように知ったかでは、「メールでの案内」が 42.3%で最も多く、「職場・知人より」が 25%、「AWA サポートセンターホームページ」が 13.5%、「Web 広報チラシ」「その他」は同数で 9.6%であった。

参加しようと思ったきっかけは、「興味のあるテーマであったから」が 37.3%で最も多く、「女性リーダー育成に課題を抱いていたから」と「講演者やパネリストの話に興味があったから」がそれぞれ同数で 22%、その他 11.9%、「職場や知人に紹介されたから」が 6.8%であった。

また、第一部の講師、大崎氏は国連でのご経験等があることから、「国際的なご経験に基づく視点から、日本社会における現状や課題、そしてその解決策について、非常に明確な説明で、大変参考になった。」や、「日本におけるジェンダー平等が進むよう、自身の意識を変え取り組んでいきたい。」、「講演内容が面白く、聴き入っていた。」と多くの好評の声が寄せられた。

第二部のパネルディスカッションでは、年齢や立場も様々なパネリストの話に「等身大の話で、聞いていて考えさせられる内容であった。」、「いろいろな方に聴いてほしい、とくに男性教職員にこそ聴いて欲しい内容であった。」、「今後の参考になる貴重な機会であった。」との感想をいただいた。